学校番号	２０２

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版　政治・経済」（数研出版）						
副教材等	最新図説　政経（浜島書店）、改訂版　政治・経済１０分間テスト（山川出版社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治、経済、国際関係の原理を通して、社会が鮮明に見えるようになる。
・政治と経済、国内と世界を関連させ、「現代社会の諸課題」について望ましい解決のあり方を模索する。
・社会に対する自分の意見を客観的に吟味し、他者にわかりやすく発信できるようになる。

２ 学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解力を身に着ける。
・現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解を深める。
・現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究する態度を身につけている。 ・国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえながら公正に判断している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、且つ集めた情報を主体的に選択し効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表・レポート）	行動の観察 （ワークシート・レポート）	行動の観察 （ワークシート） 定期考査・小テスト

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	民主政治の基本原理と日本国憲法	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の政治機構 ・政治参加と民主政治の課題	○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:日本国憲法の成立過程や国民主権、基本的人権の尊重、平和主義といった基本原則に対して興味・関心を抱いている。 b:人権保障の憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を判断している。 c:国会、内閣、裁判所や地方自治に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し、学習のために主体的に選択している。 d:民主主義の歴史や基本的原理に関して、世界史学習と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。	a:行動の観察 記述の点検 b,c： 行動の観察 記述の確認 d:定期考査 小テスト
	現代の国際政治	・国際政治の動向 ・国際社会の課題と日本の役割	 ○	○ ○	 ○	○	a:現実の平和主義にかかわる問題に対して関心を示し、日本が抱える課題に対して追究する態度を示している。 b:国内政治と国際政治の違いを、現実の状況を踏まえて多面的に考察している。 c:平和主義に関して収集した資料を、自ら設定した課題解決のために主体的に選択し、活用している。 d:二つの大戦や冷戦といった国際対立の経験を通じ、国際間の相互依存、紛争の平和的解決のための国際機構や国際法が発達してきたことを理解し、その知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 b,c： 行動の観察 記述の確認 d:定期考査 小テスト

2学期	現代経済	・経済活動の意義と経済体制 ・現代経済のしくみ	○	○	○	○	a:経済の本質や資本主義経済の歴史、あるいはグローバル化した今日の世界経済といった、経済活動全般について関心が高まっている。 b:金融や財政についての基本的知識をもとに、現実の金融･財政問題やその解決方法について、主体的に判断をしている。 c:収集した資料の中から、景気変動や金融･財政政策などの学習に必要な情報を主体的に選択して活用している。 d:資本主義経済の特質について的確な知識を有するとともに、グローバル化した現在の世界経済の現状に対しても十分に理解を示している。	a:行動の観察 記述の点検 b,c： 行動の観察 記述の確認 d:定期考査 小テスト
	国際経済	・日本経済と福祉の向上 ・国際経済の動向	○	○	○	○	a:・現代の国際経済の動向に対する関心が高まり、国際的な相互依存関係が深化する国際経済の特質を意欲的に追究している。 b:経済発展のための効率性の追求と、国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を、労使関係や社会保障を題材として的確に判断している。 c:公害や労働問題、社会保障といった様々な課題に関するデータを白書類から収集し、課題解決の手段として活用している。 d:国際経済に関する基本的な知識を習得し、グローバル化が進む国際経済の動向の中で、地域的経済統合や南北問題の新たな局面を理解している。	a:行動の観察 記述の点検 b,c： 行動の観察 記述の確認 d:定期考査 小テスト

3学期	現代社会の諸問題	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a:現代日本の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、望ましい解決の在り方を客観的に考察しようとしている b:現代日本の諸課題を多面的・多角的に考察し、望ましい解決の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断している。 c:現代日本の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している d:地域社会の変貌と住民生活、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、雇用と労働をめぐる問題、少子高齢社会と社会保障など、現代日本の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 b,c： 行動の観察 記述の確認 d:定期考査 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。